

# 京都市の市民参加の取組をご紹介します！

## ～市民参加推進フォーラムによる事業分析～

みなさんは、京都市がもっと住みやすくなるためには、どのような工夫ができると思いますか？その想いを実現するためには、どうしたらよいでしょう？

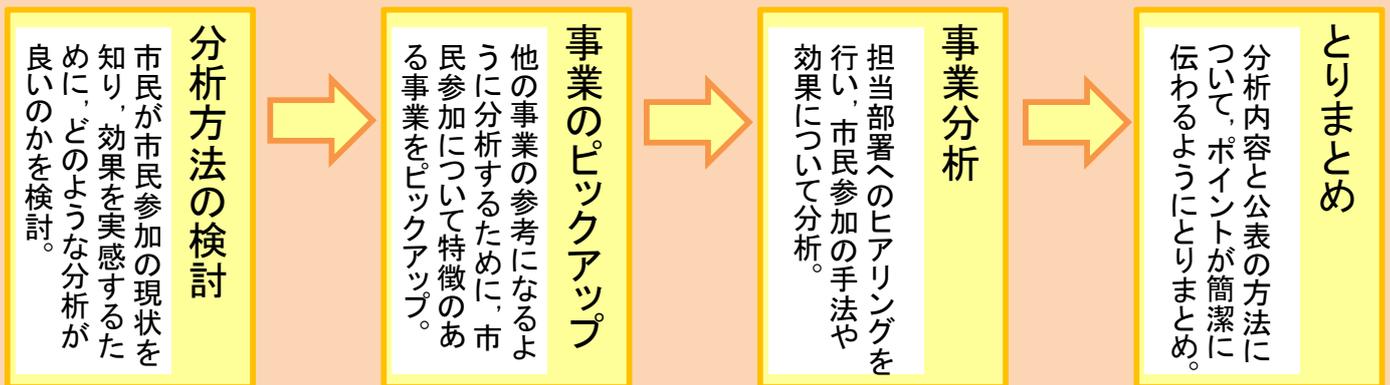
京都市は、「京都市市民参加推進条例」の中で、市民の「市政への参加」と「まちづくり活動」とを合わせて「市民参加」と定義し、積極的に推進しています。

このたび、京都市の審議会である「市民参加推進フォーラム」において、京都市の取組の現状を確認するため、2つの事業をピックアップし、市民参加の視点から分析を行いました。

同フォーラムでの分析結果を、市民の皆さんにお伝えするために、概略をご紹介します！



### 京都市市民参加推進フォーラムによる事業分析



#### 京都市市民参加推進フォーラムとは

市民参加推進フォーラムは、市長の諮問に応じ、調査し、及び審議するとともに、当該事項について市長に対し、意見を述べる市の附属機関です。

公募により選任された方のほか、学識者、NPOやまちづくり活動に携わっている方などで構成されています。フォーラムや、この分析結果の詳細については、京都市ホームページを御参照ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035250.html>



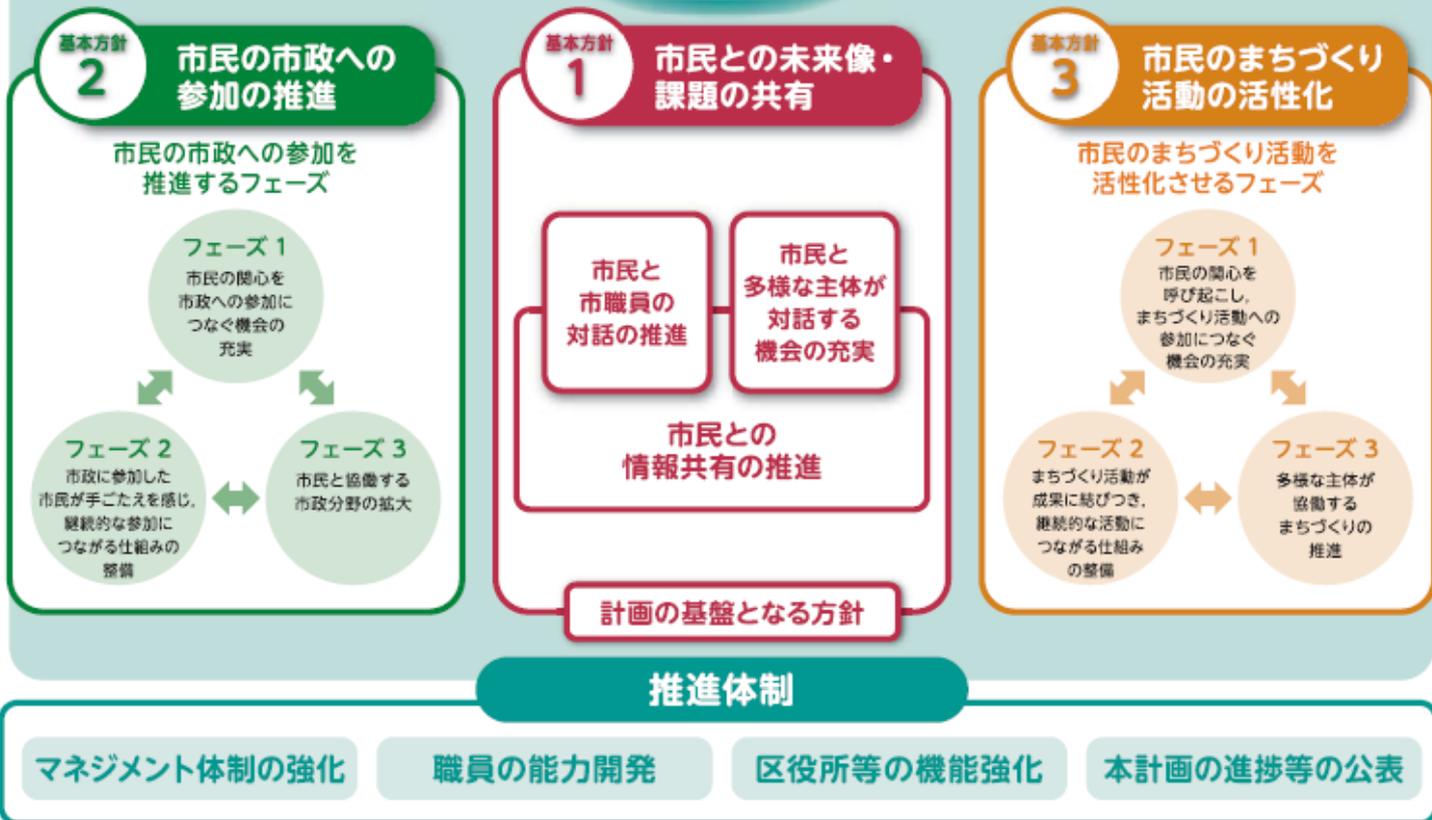
#### 京都市市民参加推進条例 基本理念（第2条）

- 市民参加は、本市と市民との協働（自らの果たすべき役割を自覚して対等の立場で協力し合い、及び補完し合うことをいう。以下同じ。）の精神に基づき、市民による市政への参加とまちづくりの活動とが相まって、推進されなければならない。
- 市民参加は、市民の豊かな社会経験及び創造的な活動が尊重されるとともに、市民の福祉の増進及び市政運営の効率性が確保されることを基本として推進されなければならない。
- 市長その他の本市の行政機関は、市民参加の推進に当たっては、市会の権限及び役割を尊重しなければならない。

目指す未来像  
『参加と協働により、豊かで活力のある地域社会の実現』

3つの基本方針で推進

市会と連携



京都市市民参加推進フォーラム委員名簿（平成29年2月）

- 荒木 泰子（市民公募委員）
- 内田 香奈（きょうとNPOセンター法人経営本部副総括責任者）
- 太田 清美（市民公募委員）
- 兼松 佳宏（京都精華大学人文学部特任）
- 川島 ゆり子（花園大学社会福祉学部教授）
- 桜井 政成（立命館大学政策科学部教授）
- 芝原 浩美（NPO法人ユースビジョン事務局長）
- 竹内 香織（NPO法人京都子どもセンター理事長）
- 津田 陽輔（公益社団法人京都青年会議所副理事長）
- 樋口 幸則（市民公募委員）
- 松下 亜樹子（京都新聞社論説委員）
- 壬生 裕子（同志社大学政策学部嘱託講師）
- 宮西 勇人（右京区嵐山学区自治連合会常任幹事）
- 吉川 忠男（市民公募委員）



京都市からのお知らせ

京都市「市政参加とまちづくり」ポータルサイト

みんなでつくる京都

始めました！  
京都市がもっとよくなる、  
もっと住みやすくなるための  
「市政」への参加や、  
「まちづくり」活動を  
サポートします！

<https://tsukuru-kyoto.net/>



＼参加しよう！／



## 市民参加の分析結果

市民参加の手法を取り入れることが難しいと思われていた土木管理分野において、事業の企画段階から市民参加型のワークショップを複数回実施し、京都市独自の機能がついたスマートフォンアプリを開発した。

### 事業概要



スマートホンアプリの開発段階で市民意見を聴くワークショップを実施！

#### <みつけ隊アプリ>

市民の皆様が応援隊となり、美しい京都の安心・安全な暮らしを守るため、道路や公園等の損傷箇所を投稿するアプリ。「調査中」「処理済み」など京都市の対応も見ることができます。



開発に当たってワークショップを実施

#### <ワークショップ：『〇〇アプリ』プロジェクト>

#### 参加

積極的に地域活動をされている方を中心に声かけ。各回30名程度、合計220名が参加。

#### 内容

- 第1回 テーマ「すてきな街って?」「アプリをつくろう!」
- 第2回 テーマ「市民協働で維持管理を進めるためには?」「アプリの名称」
- 第3回 テーマ「アプリを使ってみよう」

※各回、伏見区役所と右京区役所で同内容で実施



市民意見をもとに京都市ならではの機能が!

市民の皆様が清掃などをされた時に「私たちがやりました」という投稿でき、アプリの地図上でピンクの花印で表示されます!



市民の皆様との協働を進めていきます!

暮らしの安心安全を守る重要な土木施設。高度経済成長期に集中的に整備された施設は、今後、一斉に更新時期を迎えます。そのため、新た維持管理の在り方の検討が必要。

若手職員の庁内プロジェクトチームで市民の皆様との協働のアイデアを考えています。また、「(仮称)公共土木施設の維持管理に係る市民協働推進指針」を策定します。

#### 👍 ポイント

- ・ワークショップに幅広く呼びかけ、大学生から70歳代の方まで参加
- ・スマートフォンを持っていない方も参加OK! 職員が丁寧に説明

#### 👍 ポイント

- ・ワークショップの名称も工夫!
- ・まずは、「すてきな街って?」という話しやすいテーマから!

#### 👍 ポイント

「土木施設の維持管理は、生命に関わるものを優先するなど、優先順位を付けざるを得ない」ことなどを丁寧に説明



参加者からは「草むしりは自分達でできる」などの声も

#### 👍 ポイント

市民意見により、自治意識が高い京都市ならではの機能がついたことが最大の成果!



#### 👍 ポイント

ワークショップは若手職員の発案により実施



